

令和6年



毎月10日発行 No.331号 ☆広地区の人口 5月末
【編集・発行所】
広まちづくりセンター
〒737-0112
呉市広古新開2丁目1番3号
(電話)71-2151 (FAX)73-5034

人口 42,878 (-19)
●男 20,769 (-11)
●女 22,109 (-8)



学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。
太宰 治

浴衣の由来と京都五山送り火のお話

8月になると、あちこちで浴衣を見かけるようになりますが、浴衣の語源は、“湯帷子(ゆかたびら)”という平安時代の貴族のお風呂用の着物です。当時のお風呂は蒸気を浴びる“蒸し風呂”で、火傷の防止や汗取りのために着られていました。江戸時代になると、風呂屋が広まり、庶民も風呂上がりに浴衣を着るようになり、外出着へと変化していきました。

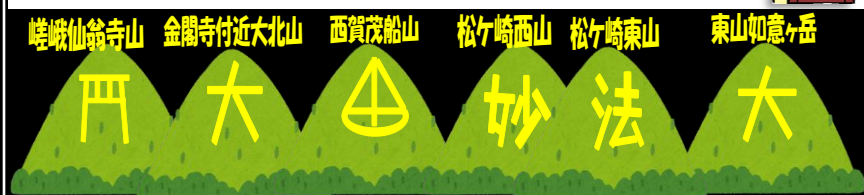
天保の改革(江戸時代の天保(1830年~1843年)老中水野忠邦によって行われた江戸幕府の大改革)により、絹織物などの和服が着られなくなり、木綿製の浴衣が広まりました。明治時代以降には夏の外出着として定着したのです。

浴衣を着て行くところと言えば、お祭りや花火大会がありますが、今日は“**京都の五山送り火**”について深掘りしたいと思います。ご先祖の霊をお送りするため、京都御所から北に向かって右から、“**大文字**”“**妙・法**”“**舟形**”“**左大文字**”“**鳥居形**”の5つの山で送り火を灯します。大文字山が火災に見舞われたときに、**阿弥陀仏**が光明で消し止め、その光明を真似て火を用いた儀式を空海が“大”の字にしたとする説をはじめ、それぞれ意味があるとされています。全ての形の意味や起源については明確な記録がなく、研究者や歴史愛好家たちが謎を解き明かそうとしているそうですよ。興味のある方は研究してみたいものですね。

今年は、8月16日(金)午後8:00から8:20の間に如意ヶ岳の“大”から順次点灯されます。30分間しか点灯されないそうですが、一度は現場で見たいものですね。

皆様も広地区のイベントに参加して楽しい夏を過ごしてください。暑い日が続きますが、体調に気をつけて素晴らしい夏にしましょう。

館長 細川



広まちづくりセンターからのお知らせ

8月20日(火)受付開始の短期講座

①煎茶道(小笠原流)

対象 18歳以上
日時 10/11, 12/13, 1/10, 2/7, 3/7
(全て金曜日) 13:00~15:00
場所 広まちづくりセンター605号室
※1/10のみ会場は606号室になります
料金 4,000円 **定員** 先着15名



②秋色のシュタープ

シュタープ(ドイツ語=棒)とはユーカリや秋色の植物を束ねたり編んだりして作る伝統的な縦長棒の壁飾りで、リースでもスワッグでもないかわいらしい装飾品です。

対象 18歳以上
日時 10/2(水曜日) 10:00~12:00
場所 広まちづくりセンター606号室
料金 2,400円 **定員** 先着15



広図書館からのお知らせ

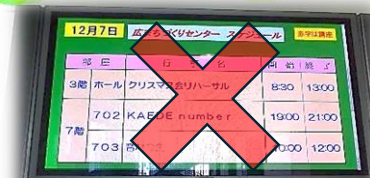
開館時間 9時30分~20時00分
休館日：木曜日・祝日
* 8月の休館日：
1日・8日・11日(祝/日)・15日・22日・29日
* **ババールのえほんかい**
日時 8月20日(火) 10時30分~11時10分
場所 広市民センター6階 和室(604室)



広図書館 ☎:71-7470

“行事案内”についてのお知らせ

これまで各階にありました「行事予定案内モニター」の劣化が進み、ご不便をおかけしますが、撤去させていただきます。



当センターの行事については、エレベータホールに貼っておりますのでご確認ください。

なお、他の行事内容については、各階の窓口にてご確認くださいますようお願いいたします。



【入って右手にあるエレベータホール】

広地区自治会連合会 地域に根ざす健康づくり事業 体操教室のお知らせ

◎開催日 令和6年8月20日(火)
◎集合場所 広市民センター 7F 701室
◎受付時間 午前9時00分



講師: 3B体操 藤井 美和 先生

お願い

※運動のできる服装・上履き・タオルをご持参ください。※飲み物は用意します。
※レクリエーション保険加入の為、受付で記名願います。
※問い合わせ ☎ 堀：080-1919-6088



広まちづくりセンター定期講座訪問

②④ 和文楽を楽しもう!着付け入門

今回の訪問は、**相田夕子先生**担当の“和文楽を楽しもう!着付け入門”です。相田先生は、二人のおば(東京で和裁の学校経営と広島で呉服店を経営)の影響を受け、若くして和服の世界に入りました。着物に精通した着付けのプロである**着付け師・講師・学院准教授**の資格を有されています。呉市生涯学習センター(つばき会館)で火曜日の夜に指導していらっしゃいましたが、広まちづくりセンターでもと声がかかり、平成28年に開講することとなりました。



【相田夕子先生】

この講座の名前にもあるように、相田先生が大切にされていることは、“**和文楽**”です。日本には七五三・成人式・お宮参り・入学式・卒業式・成人式・結婚式など着物は欠かせないものとなっています。普段の生活の中で着る機会は少なくとも大切な場面で着物の出番はありますね。そういった“和文楽”についての学習を10分程度してから実際の着付け実習に入られています。

“着物”の魅力は、動きにくい、歩く・座るなど普段とは違った特別な所作をすることで行動が変わり、知的に見えて、外見はもちろん内面の美も引き立つということにあるそうです。“着物に興味があっても自分ひとりでは着られない”、“着物を着るためには揃えないといけないもの”がたくさんあるのではないかという心配が、着物のハードルを高くしているかもしれません。しかし家にあるもので十分学ぶことはでき、お金がかかることはほとんどないそうですよ。若い人もぜひ参加してみてください。⑤



広スポーツ協会からののお知らせ

第30回 広町民弓道大会

日時 令和6年8月18日(日) 9:00~開会式
場所 呉市営弓道場(近的)
参加資格 広地区又は近郊に在住する者及び在学する学生・生徒、広地区又は近郊の事業所等に勤務する者

参加費 一般の部:300円、高校の部:無料
⑤参加費は当日会場にてお支払いください。

申込期限 令和6年7月30日(火)まで
※広在住の成績優秀者は呉市体育祭(10月27日)の広地区の代表者として推薦される。

申込先 広まちづくりセンター内(広市民センター5F)
広スポーツ協会事務局 ☎71-2151 Fax73-5034

問合せ 弓道部長 進藤 静基 ☎080-6988-1754

第36回 広町民バドミントン大会

日時 令和6年8月25日(日) 9:00~開会式
場所 呉市総合体育館(シヨウオークアリーナ)サブアリーナ
参加資格 ①一般の部(ダブルス)

②ジュニアの部(小・中学生 シングルス)

※1 広地区在住

※2 広地区の学校に在籍

※3 広地区の事業所等に勤務

参加費 一般の部:500円、ジュニアの部:300円
⑤参加費は当日会場にてお支払いください。

申込期限 令和6年8月10日(土)
※競技内容につきましては、参加人数等により変更する場合があります。

申込先 広まちづくりセンター内(広市民センター5F)
広スポーツ協会事務局 ☎71-2151 Fax73-5034

問合せ 広スポーツ協会事務局 ☎71-2151

※これら2つの事業は、呉市社会福祉協議会、広地区自治会連合会、賛助会員の助成金により運営しています。
※大会において傷害が起きた場合、応急処置はするがその後の責めは負いません。ただし主催者で1日傷害保険に加入する。当日の健康状態は各自で十分留意してください。



第6回広地区盆踊り

イベントもあるよ!

・新広音頭総踊り大会

日時 令和6年8月4日(日) 17時~20時
場所 広公園多目的広場



ひろ協働センターからののお知らせ

「ボランティアの探し方」展示について

ひろ協働センターフリースペース内で、「ボランティアの探し方」についての展示を行っています。

呉市内のボランティア情報について、呉市市民協働センターが発行しているボランティアメールマガジン、ボランティア情報紙、ボランティア掲示板のご案内、呉市のボランティア情報ホームページの検索方法などについて展示しています。

ボランティアに興味がある方はお気軽に、広市民センター4階 ひろ協働センターにお越しいただき、展示をご覧ください。

期間 7月~8月末まで毎日(水曜日休館)
場所 ひろ協働センターフリースペース(広市民センター4階)

電話 ひろ協働センター 0823-71-0321



編集後記 ~寿司1貫は1個? 2個?~

先日回転寿司店に行った。一皿の上にふつう2個並んでいるが1個のものもある。寿司の単位は“貫”。ふと考えた。2つペアで“1貫”なのか、1個の寿司が“1貫”なのか。

“貫”というのは重さの単位である。日本の尺貫法によれば“一貫=3.75kg”，これはとてもじゃないが食べきれない。江戸時代には、一貫の寿司は複数のネタが盛られ、かなり大きかった。客のため約40gに小さくしたのが“一貫”の始まりだそうだが、現代では“寿司1個を一貫という”ことが一般的なようだ。

同じくパンの“1斤”も重さの単位だ。“斤”は尺貫法で1斤=16両=160匁(1匁=3.75g)=約600g。明治維新以降に輸入された食パン一袋の重さが1ポンド=約450gだったので、これを1斤としたわけだ。知らずに使っている言葉って、けっこうあるもんだなあ。⑥

